

特定非営利活動法人太陽光発電所ネットワーク 2013 年度通常総会

- ◆日時：2013年7月27日(土) 13:30~(開場13:00)
- ◆会場：明治大学リバティタワー 13F 1136教室

議案書

目次

- 1号議案 2012年度 活動報告 / P. 1
- 2号議案 2012年度 決算報告〔別紙〕
- 3号議案 2013年度 活動方針(案) / P. 16
- 4号議案 2013年度 予算(案)〔別紙〕
- 5号議案 理事選任(案)〔別紙〕

◆ 通常総会 プログラム (予定)

- 13:30~ 第1部 通常総会
- 16:10~ 第2部 「エネルギーと暮らし=ソーラー
ライフ・OMソーラーハウスの実践から(仮)」 & 意見交換
- 17:00~ 記念撮影
- 17:15~ 第3部 懇親会 (会場移動)

◎ 明治大学へのアクセス ◎

- 都営新宿線/三田線/半蔵門線
神保町 A5 出口より約8分
- 都営新宿線小川町駅 千代田線 B5 出口より約5分
- 千代田線 新御茶ノ水駅 B1・B5 出口より約6分
- JR/丸の内線 御茶ノ水駅 御茶ノ水口より約3分

Meiji University Campus Guide



●1号議案 2012年度活動報告

I) 2012年度 全体概要

〔1〕はじめに

核・化石燃料を基軸としたこれまでのエネルギー政策、この政策の継続は、かの福島原発事故が契機となって環境保全も含む物理的な側面はもとより、財政経済的な面からも実質上、不可能になっています。原発の稼働停止による発電量の減少分は火力による発電量の増強と節電でまかなわれていますが、化石燃料費の上昇に加えて将来の安定供給への不安も払拭されていません。

このような時代的な趨勢を勘案し、PV-Netとしては2012年度の活動方針に太陽エネルギー利用を基軸にした豊かな暮らしの充実を図る「スマートソーラーライフ」を提案し、その実現・充実に傾注することを指針としてきました。無論、ソーラーライフの構築は一朝一夕でできるものではなく、いまもその途上にあり、これ

からも長い期間を要するでしょう。個人々人をターゲットにした太陽光発電設備の普及・拡大がありますが、これに関わる具体的な活動として4つの事業をPV-Netは実践しています。1. PV相談活動、2. PVグリーン電力証書事業、3. PV教育事業、を行いながら、4. PV教育事業として、市民共同発電所建設に向けてのサポート事業にも少なからざる成果をおさめつつあることは特記に価するでしょう。

なお、この事業はあくまでも市民の係わりのなかで遂行されるべきものの方針を崩していません。その点では大企業がメガソーラーと称して、儲けを目的とした活動とは趣を異にしています。前向き活動実践を行うとともに会員の構成変更、組織の見直しと強化が必要という認識も私たちが自覚した一年でもありました。

〔2〕活動報告

A. 重点項目と具体的活動

重点目標1 相談活動の充実

(1) PV健康診断システムの再確立

PV健康診断システムの再構築を最重要事項として活動を続けてきました。いままで予算つかず苦慮していましたが、費用面での工面ができ、また会員からの積極的な協力も受け、PV-Net独自の診断システムができあがりつつあります。これまで協力を仰いできた(独)産業技術総合研究所の推定発電量も併せて活用できるようにも働きかけています。

(2) 相談員の人材育成

自然エネルギー学校を開催し、太陽光発電に関する多面的な情報を参加者と共にシェアしてきました。また地域活動で行うセミナーの開催、出展イベント、会員訪問など会員および一般の方々との交流する場面が、そのまま実体験を通じた相談員育成の場となっています。太陽光発電に関する新しい情報や取り組みなどがどんどん生まれるなかで、知識や情報のブラッシュアップを組織的に行うことも欠かせません。今年は相談員育成講座の開催も行い、地域で核となる相談員のレベルアップを図っていきます。

(3) 相談室のセンター活動の充実

毎週木曜日、継続的に相談室を開設してきました。時代と共に相談内容も変化してくるなか、集まる事例はそのまま社会状況を反映したもの

となっています。それらの事例を活かした相談活動の充実を今後も継続して続けていきます。

重点目標 2 自立的経済基盤の確立

2012年度は自主事業を中心とした財政基盤の強化に力を入れて活動してきました。

(1) PV-Green 事業の採算化

PV-Green 事業においては目を見張るような成長はないものの、縮小することなく自主事業として確固とした運営と収益を上げています。また事業ノウハウを欲する団体も出てきており、運用ノウハウ自体が価値を持ちつつあります。グリーン電力を通じた他団体とのつながりも、PV-Net にとっての財産となっています。

(2) 市民共同発電所建設サポート事業

PV-Net が蓄積したノウハウの活用と「市民ファンド」という新たな取り組みへの挑戦でしたが、多くの方から相談をいただき、岩手県の野田村だらすこ発電所、中津川の恵那山おひさま発電所、秋田大沢大規模発電所などサポート事業を実施し、内外ともに大きな反響をいただきました。事業収益だけでなく、各地で真剣に太陽光発電の設置を試みる地域の核となるパイオニアたちと長期にわたる信頼関係を築き上げることは PV-Net にとって非常に大きな財産となっています。そして、静岡に借入金方式で伊豆の国電気の畑発電所、リユースパネルを活用した小諸エコビレッジ市民共同発電所など PV-Net 主催でも発電所を設置することができました。毎年固定に近い売電益が入るため、財政基盤への貢献にもなります。

(3) PV 教育事業

小諸エコビレッジにおいて自然エネルギー学校を3回開催しました。「市民共同発電所の作り方」と題し、1泊2日で開催した初回は、北は

岩手、南は福岡と全国から約50名の方に参加いただき、夜には大交流会が開かれました。

また、千葉地域から始まった職業訓練の場であるポリテクセンターへの講師派遣は、千葉、神奈川、江戸川の3地域から依頼を受け、合計4回の講座が開催されました。太陽光発電のイロハから市民目線でのメンテナンス、普及に関する視点など、事業者やメーカーからだけでは得られない情報を提供することで、真に賢い市民の育成へとつなげています。講師の立場で話せる人材の育成も併せて行う必要を感じています。

(4) 相談事業

2004年から、毎週木曜日の相談室の開設を継続しています。社会の状況の変化に応じて相談内容も多彩になってきました。まだ事業としての確立にはつながっていませんが、今後、機器を活用したメンテナンス部門の検討を行うなど、市民力を生かした相談活動の充実を目指す方向で進めています。

(5) 助成・委託事業の受託

地球環境基金（継続）および、長野県元気づくり支援金（新規）、福島実証モデル事業（新規）を受託しました。新規自主事業の開拓・基盤づくりに力を入れてきたため、例年に比べ受託事業は減っています。一方で、自主事業のみの収益だけではまだ財政面が厳しいため、今後も引き続き事業の受託を積極的に進めていきます。

重点目標 3 各部門の役割の明確化と連携による組織強化

各部門の役割を明確化し、それぞれの責任を果たし連携していくことで組織の強化を図ってきました。

(1) 自立的な地域活動の実践（地域）

ユニークな活動をしている地域の取り組み事例（静岡や東京の市民共同発電所活動、関西のお宅見学会、中部の省エネ活動など）を理事会やブロック会議で定期的に共有化することで、ノウハウの伝達や地域世話人間の連携強化が図られました。地域で助成金、委託事業などを受託する活動も活発化してきています。

(2) 会のノウハウと人材資源の集約・活用 （事務局）

静岡の先進的な取り組みはセンター活動と結びつき、市民共同発電所サポート事業（市民ファンドサポートセンター）として大きな一歩を踏み出しました。経済産業省に対し、メガソーラーと 50kW 未満の太陽光発電設備の区分を設け、優遇価格の設定などを求める等の「調達価格等に関する改善提案」を提出し、より市民目線に立った普及のあり方を提言しました。

(3) 専門的な情報の集約と会活動（部会）

地域の核となるような部会活動の見直しを、積極的に行うことについては大きな前進はありませんでしたが、設立から現在まで継続している既存のあり方とは別の方向で舵を切る時期になってきたことが組織内で改めて認識されました。今後の組織運営で変化対応していきます。

(4) 部会の担っている仕事内容等の整理と 作業の分担

環境価値を生み出す PV-Green 活動では、部会のみならず組織全体でその有用性をアピールそして活用していく方針となりました。全体イベント・地域イベントでも積極的に活用し、グリーン電力証書が循環するシステムを作り上げていきます。

組織部も理事が積極的に役割を担う事で、きめ細かな地域フォローを進めていく事例が少しずつ出てきています。一極集中していた業務を地域や理事に振ることで、部会活動の目的を広く達成していく方向となっています。

重点目標 4 ソーラーライフの充実

太陽光発電や太陽熱温水など比較的簡便な再生可能エネルギーの積極利用を通じて、新たな暮らし方を工夫しつつ「ソーラーライフ」の具現化提案をめざし活動してきました。

(1) 小諸エコビレッジでの「ソーラーライフ」 の実践

長野県元気づくり支援金の受託をきっかけに、小諸エコビレッジに太陽光市民共同発電所を市民参加型工事で設置しました。秋には自然エネルギー学校を開催。全国から 50 名が集まり、自然豊かな小諸の地で太陽エネルギーを多角面から共同体感しました。この経験を活かし次年度はさらに対象を子供にまで広げ家族で楽しむソーラーライフ体感の場の提供に繋がっていくでしょう。

(2) 住宅用 PV の活用と 1 枚の太陽光パネル 運動の展開

関西（京都・奈良など）や中部や関東（神奈川）では、1～数枚のパネルを自作し、活用する実践を進めました。まだ小さな活動ですがこれからの電力自由化の進行に伴って重要性が増し

ていくことを確信できました。

(3) 省エネ運動への参加

創エネよりも省エネが先とこれまでソーラーマイレージ事業など省エネ活動に積極的に推進してきましたが、会員個々の取り組みは継続されてきたものの組織的な取り組みは残念ながら不十分な活動となりました。

(4) 上記を「くらしの場」で活躍する

また、各地域交流会では独立系パネルの講習会を開催し、1枚のパネルで豊かに暮らすエコな暮らし方の体験のシェアなども行うなど、既に豊かなソーラーライフを実践している会員達が中心となり草の根的な運動が始まっています。この波が住宅用 PV 設置の普及と同様、全国へ電波していくように活動してきます。

重点目標5 会の発展に寄与する

会活動がより発展的となるよう、活動の基盤づくりを主に取り組んできました。

(1) 認定 NPO 法人の取得

認定 NPO 法人ですが、残念ながら今季申請に至ることができませんでした。ただし、準備期間を得て、会員皆様のご協力によりパブリックサポートテストと呼ばれる大きなハードル（2年間で200人以上かつ金額3000円以上の寄付者が必要）がクリアできたため、今年度の本申請に向けて準備に入っております。

(2) データベースの地域活用の実践

データベースの地域活用の実践はお蔭様で達成することができ、地域会員とのつながりをつくる基盤がようやく確立できました。運用に関してはこれから修正・改善ということも控えています。地域運営のみならず、

全体活動の円滑化がすすんでいます。管理事務の一部が地域に移譲できたことでセンター事務局の労力の一部が軽減され、最重要課題への取り組みへより多くの力を注ぐことが可能となりました。

(3) ホームページでの情報発信の充実

情報発信に関しては、各イベント開催情報はもちろんのこと、USTREAM 放送のアップなど、開催後の情報充実に努めました。今季は「市民ファンドサポートセンター」事業専用のページも立ち上げ、閲覧者から連絡を頂くことでその効果を確認しています。ホームページだけでなく、メール登録会員へ定期的な情報発信を実施することもできました。

B. 受託事業・助成事業・その他事業

- ・葛飾区グリーン電力証書化事業〔葛飾区〕
- ・大垣市グリーン電力活用推進事業〔大垣市〕
- ・市民による太陽光発電の逸失 CO2 削減量最小化事業〔地球環境基金〕
- ・長野県元気づくり支援金〔長野県〕
- ・市民ファンドサポートセンター設立〔7月〕

C. 全体イベント・政策提言・制作物等

①全体イベント（主催・出展）

- ・自然エネルギー学校（in エコビレッジ）〔9月〕
- ・「シェーナウの想い」上映会〔10月〕
- ・市民参加型市民共同発電所設置 WS〔12、3月〕
- ・再生可能エネルギー世界展示会〔12月〕
- ・太陽光発電所長大集合イベント〔2月〕
- ・PV-Net10周年記念イベント〔5月〕

②委員会・政策提言、制作物、アピール等

- ・太陽光発電システム標準化総合委員会
- ・九州ソーラーネットワーク（SONEQ）
- ・白河市マッチング事業課題検討委員会
- ・「太陽光発電技術者育成のための基礎知識」作成
- ・固定価格買取制度の調達価格等に関する改善提案〔政策提言〕

③その他全体の活動等

- ・小諸エコビレッジ運営〔通年〕
- ・静岡・電気の畑市民共同発電所設置〔9月〕
- ・小諸市民共同発電所設置〔3月〕

Ⅱ) 2012 年度 各地域交流会の活動報告

■茨城地域交流会

1. 活動経過の概略

2012 年度は震災後 1 年を経て、固定価格買い取り制度の発足もあり、PV の国内市場は個人住宅をはじめ、メガソーラー、市民ファンドなど、国を挙げて設置計画ラッシュの感があった。一方、パネルメーカーは激しい市場競争にさらされているが、今後、価格・品質などに真の信頼あるメーカーが持続的に発展する市場を期待したい。

茨城世話人会は、第 33 回～38 回の 6 回、ほぼ 2 ヶ月毎のペースで開催した。世話人スタッフも長年固定化してきており、高齢者・一部現役者の構成だが、各自それぞれ別の活動の場もかけ持ちし、常に欠けたメンバーでの開催を余技なくされている。

2. 活動内容

- ・理事会報告、関東ブロック会議からの他地域の活動紹介、最近のマスコミ、IT からの内外のホットな PV 情報。
- ・「いばらき自然エネルギーネットワーク」に入会し、PV を中心にした各種自然エネルギー関係の国内情報の配信を受けそれを紹介。
- ・PV 設置費用の近隣価格比較、設置工事、契約に関するトラブル例の紹介。
- ・発電性能の維持、チェックに関すること、メガソーラー設備のアキレス腱「PID 現象」についてなど。
- ・エコめがね設置者の見学と意見交換。

■群馬地域交流会

「世話人会の定例化と充分なる議論の場を保証」ならびに「情報の共有化」に努めるとともに、世話人として参加してもらえる仲間の獲得を年間を通じた最大課題として捉え活動してきました。あらためて世話人であった仲間に声をかけ、PV-Net の事業に参加していただけるようお願いをしてきました。常時世話人会や事業への出席はかないませんでした。情報の共有化

を図れるようになりました。あらためて声かけの重要性を認識した 1 年でした。

■埼玉地域交流会 別ページ (P9) 参照

■千葉地域交流会 別ページ (P10) 参照

■東京地域交流会 別ページ (P10) 参照

■神奈川地域交流会 別ページ (P11) 参照

■山梨地域交流会 別ページ (P11) 参照

■静岡地域交流会

1. 世話人会は約月 1 ペースで開催。
2. 市町の環境イベント出展は 4 回。
(富士・裾野・沼津・掛川)
3. 手作り市民共同発電所 (伊豆の国電気の畑) の設置 (18.24kW、周りに個人オーナー発電所 3 基を同時建設)。1 口 10 万円の借入方式で 48 口を募集。9 月 10 日より稼働している。
4. 第 2 共同発電所づくり (25.92kW)。今度は出資金方式で募集する方針で、合同会社静岡市民共同発電所を 1 月 25 日に結成。しかし、諸般の事情により、ファンドは作らず、従来の借入金方式で建設。6 月 18 日より稼働を開始した。
5. 藤井代表を招き、原発問題とエネルギーシフトについての「フォーラム」を開催。

■富山地域交流会 別ページ (P12) 参照

■中部地域交流会 別ページ (P12) 参照

■関西地域交流会

別ページ (P13) 参照

■兵庫地域交流会

1. 世話人会の開催
(6/24、7/18、8/26、9/23、10/28、11/25、
1/27、2/26、3/23、4/16)
2. 産総研・加藤工博主催 PVResQ 講習会参加
3. 12月2日、自然エネルギーフォーラム「太陽
光発電の拡大に向けて」を開催
(講師：兵庫県副知事・金澤和夫氏、産総研・
加藤和彦工学博士)
4. 3月10日、バイコロジーフォーラム開催
(講師：小池ひろのり氏)

■京都地域交流会

別ページ (P13) 参照

■山口地域交流会

別ページ (P14) 参照

■九州地域交流会（福岡地域交流会含む）

福岡地域交流会の代表も兼ねられていた松隈さんの突然の逝去や副代表の入院などで十分な活動ができませんでした。センターが行なっている九州の PV-G 証書参加者のフォローを行ったり、会報の配布作業を行いました。体制を立て直すべく、センターの組織部や事務局と協議しているところです。

■佐賀地域交流会

別ページ (P14) 参照

■宮崎地域交流会

別ページ (P15) 参照

Ⅲ) 2012 年度 各専門部会の活動報告

■組織部

1. 組織状況

3,000名の目標に対し、現在会員数2,682名、賛助会員16。(2013年7月1日現在)

2. 地域交流会の新たな立ち上げは今年度はできなかった

地域活動状況としては、神奈川・埼玉・千葉・関西など優れた活動を継続している地域がある一方、悩みを抱えている地域も多い。活動家層の掘り起こしをどう進めるかが課題。関東ブロックの地域代表者会議は定着してきている。

3. 関東ブロック・関西ブロックでは地域代表者会議を定着させつつある

■普及広報部

1. 2つのイベントを開催し、広く参加を呼びかけ、USTREAM中継も試みました

- ① 太陽光発電所長大集合イベント
市民の手にエネルギーを ～広げよう市民共同発電所～
2013. 2. 13 LEN貸し会議室「水道橋」
- ② PV-Net10周年イベント ～10年のあゆみ、そして未来のソーラーライフへ～
2013. 5. 25 シースクエア恵比寿

2. 外部イベントに参加しました

第7回再生可能エネルギー世界展示会 (RE2012)
2012. 12. 5-12. 7 幕張メッセ

3. PV-Net 会報誌の発行を行いました

第24号 2012. 5月発行
「特集 2. 25 発電所所長大集合報告」
第25号 2012. 11月発行
「特集 7. 28 通常総会 報告」
第26号 2013. 4月発行
「特集 2. 13 発電所所長大集合報告」

4. 情報発信の充実

市民ファンドサポートセンター専用HP開設

www.peoplefund-support.com/

FaceBook ページ開始

www.facebook.com/PVOwnerNetwork

■財政部

本年度の財務状況としては、会費の徴収率はやや改善しました。委託事業による補助金収入は前年並み。PV-Green 事業はやや改善となりました。支出にあたっては、効率的な運営により、やや改善しています。

■相談室

別ページ (P9) 参照

■PV-Green 事業部

年間販売目標は200万kWhと大きく掲げたが、最終実績としては、環境省の案件を含めると過去最高の販売量115万kWhの結果になった。(対前年比108%)また、認証電力量についても環境省の案件も含め、197万kWhと過去最大となっている。

以下は2012年度に掲げた活動方針の報告

1. グリーン電力証書定期的購入の企業・団体との連携を強化

引き続き今年も多く企業・団体から購入いただいたが、購入量を例年よりも減らした企業が数社あった。

2. 他の証書発行業者への顧客の流れ、取りこぼし等を拾う

証書発行業者(S社系)が廃業し、その個人宅G電力を預かる案件があったが、他証書発行業社から流れてきた新規購入イベント・新規購入企業はなかった。

3. 自治体案件の積極的取り組み

自治体主導での全く新規のG電力購入は今期、生まれなかった。

4. 音楽ジャンルのさらなる強化

仙台のTV局の音楽イベントを1件獲得。当初の目標であるクラシックジャンル開拓は2件のみにとどまった。

5. 冬のイルミネーションでの利用拡大

日比谷花壇の案件が14件(前年7件)に増え、18,300 kWhと件数・量共に対前年比200%と拡大した。

6. エコ意識の高い団体、学校、商業施設との連携

大学の学園祭で1件、新規の購入があった。また、結婚式の利用も1件あった。

7. 会員数の多い団体、趣旨に熱心なイベントと

共同し、個人の少量購入を束ねた販売提案会報26号発送時に「G証書利用呼びかけリーフレット」を同封し、会員の方々からも宣伝やセールスを呼びかけるよう促した。

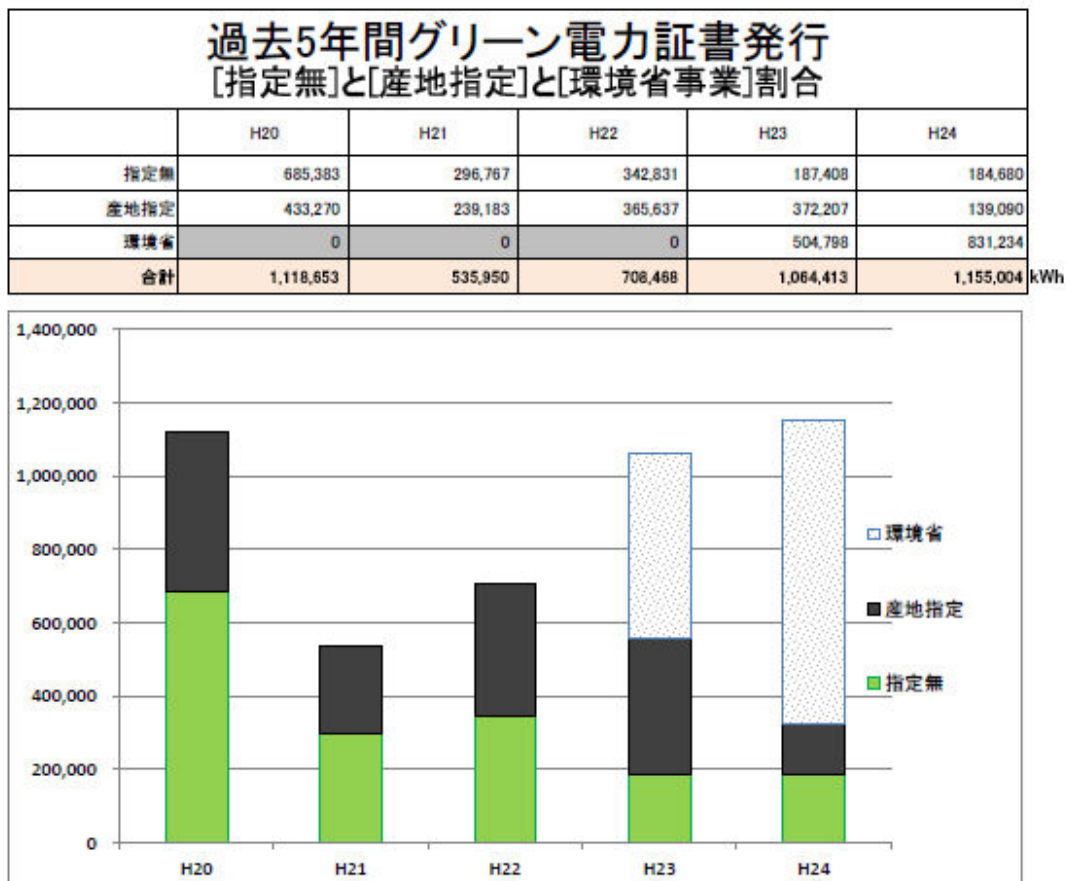
8. 事務管理の労力軽減のため、データベースの管理の導入を開始

データ管理を「Microsoft Access」へ移行中で、来期完成予定。

9. ファーム販売状況の「見える化」対策準備

会報26号に24年度の販売先全リストと出所ファーム発電期間を掲載した。

(※下図は過去5年間のグリーン電力証書購入者の産地指定有無、及び環境省案件の割合の推移)



◆2012年度の活動の振り返り～Plan、Do、Check～		相談室		記入者： 國井範彰		作成日 2013/5/15					
◆2012年度の活動目標や活動計画 (Plan)		◆担当・該当企画など (Do)		◆各項目の達成度 (Check)							
				1: 全く達成できなかった	2: 達成できないことが多い	3: 最低限達成できた	4: かなり達成できた	5: 十分達成できた			
1. PV不具合対応の推進	①PVResQで検出の不具合処置の支援・フォロー	地域相談員、地域交流会		①	2	3	4	5			
	②一斉点検結果の処置支援・フォロー	地域相談員、地域交流会		①	2	3	4	5			
2. 相談員の人材確保	①ソーラーヘルプデスクの地域分散対応(地域での相談対応機会の増大)	地域相談員		1	2	③	4	5			
	②PV基礎講座のブロック(地域)開催	地域交流会、普及広報部		①	2	3	4	5			
	③相談員研修会(養成講座)の開催	相談室		①	2	3	4	5			
3. 相談室のセンター活動充実	①会員データベース、PV健康診断の充実(データベースの地域アクセスの活用)	相談室、地域相談員		①	2	3	4	5			
	②メーカーとの意見交換・情報交換の推進	相談室		1	②	3	4	5			
	③法務対策、制度作り、情報収集・発信	相談室		1	②	3	4	5			
◆各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題 (Check)											
1. 最重点にあげた「PV健康診断のリニューアル」と「管理ページの地域アクセス」が全く進まず、全ての活動が低調に終わった。											
2. 相談対応については、事務局でのヘルプデスクは継続的に実施した。一部の地域ではそれぞれ工夫しながら相談活動が行われてきた。											
3. PV健康診断のリニューアルが出来た時点で、運営体制を再構築する必要がある。											
◆活動記録 (* 概要を書き込み、全体像を記録してください) (Do)											
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月

◆2012年度の活動の振り返り～Plan、Do、Check～		埼玉地域		記入者： 松岡洋右		作成日 2013/5/16					
◆2012年度の活動目標や活動計画 (Plan)		◆担当・該当企画など (Do)		◆各項目の達成度 (Check)							
				1: 全く達成できなかった	2: 達成できないことが多い	3: 最低限達成できた	4: かなり達成できた	5: 十分達成できた			
1. 会員拡大活動を推進											
①PV-Greenに頼るのではなく、情報提供とPV健康診断を中心に活動		世話人全員		1	②	3	4	5			
②特に若い会員の獲得を重点に進める		世話人全員		1	②	3	4	5			
2. 市民共同発電所設置に協賛・協力											
①地域の団体との協力。独自の設置も検討する		世話人全員		1	2	3	④	5			
3. 節電・省エネの推進											
①節電行動アンケート実施と分析、会員へのフィードバック		世話人全員		1	2	3	4	⑤			
②相談室・講演会への参加を促し、賢い太陽光発電ユーザーを育成		世話人全員		1	2	3	4	⑤			
4. 各種団体とのイベント共催											
①県・自治体及び各種団体との協働・連携してイベントに参加		世話人全員		1	2	3	④	5			
②見学会・フォーラムの開催による、会員の交流の場の提供		世話人全員		1	2	3	④	5			
5. 世話人会の定期開催では、毎月月初めの定例会は予定どおりで来た											
①毎月、月初めの土曜日の定期開催		世話人全員		1	2	3	4	⑤			
②埼玉地域交流会の年間活動推進と報告		世話人全員		1	2	3	④	5			
◆各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題 (Check)											
1. 会員拡大活動を推進では、会員との交流の場が少なく、呼びかけのチャンスがなかった。従って、特に若い会員の獲得は、イマイチだった。課題として、若い会員に会への参加を呼び掛ける。											
2. 市民共同発電所設置の協賛・協力では、昨年以上の成果があった。今年もがんばりたい。											
3. 節電・省エネの推進では、見学会・フォーラム開催時、アンケート形式で節電行動を把握し、まとめて、フィードバックができた。相談活動もほぼできた。											
4. 各種団体とのイベント共催では、県・自治体及び各種団体との協働・連携してイベントにほぼ参加できた。											
5. 世話人会の定期開催では、毎月の定例会は欠かさずできた。											
◆活動記録 (* 概要を書き込み、全体像を記録してください) (Do)											
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
3日 東海村原子力発電所見学会 9日 世話人会 13日 夏の温暖化防止推進会議参加 17日 ふじみ野住宅展示場イベント参加 30日 さいたま市 節電・地球温暖化防止街頭キャンペーン参加	1日～17日 クールアース・デーin埼玉 2012講演会参加 7日 世話人会	5日 世話人会	8日 世話人会 15日 大宮アルディージャ キャンドルサービス参加 22日 カーブリーダー2012参加	13日 世話人会 14日 越谷エコウィークキャンペーン参加 20日 越戸川祭りイベント参加 27日～28日 川越さんぱく参加 28日 熊谷ニョオザネまつり参加	10日 世話人会 17日 埼玉お日さまクラブ見学会参加 18日 和光市市民祭りイベント参加 10～27日 熊谷市市民団体活動の足跡展参加	1日 ストップ温暖化防止 SAITAMA(子供フェスティバル)出展 8日 世話人会	19日 世話人会 26日 籠原ことぶき乳児保育園点灯式参加	9日 世話人会 19日 熊谷立正幼稚園点灯式参加 23日 市民共同発電所フォーラム2013参加	9日 世話人会 31日 埼玉地域フォーラム開催	6日 世話人会 10日～11日 イオン震災支援キャンペーン参加	11日 世話人会(延期になった見学会、再検討) 18日～19日 熊谷エコライフフェア参加

◆2012年度の活動の振り返り～Plan、Do、Check～		千葉地域		記入者: 宮下朝光		作成日 2013/5/18					
◆2012年度の活動目標や活動計画 (Plan)		◆担当・核当企画など (Do)		◆各項目の達成度 (Check)							
				1: 全く達成できなかった	2: 達成できないことが多い	3: 最低限度達成できた	4: かなり達成できた	5: 十分達成できた			
①地域フォーラムの開催(自治体との連携) 流山フォーラム		新美		1	2	3	4	5			
②世話人会		全員		1	2	3	4	5			
③イベント出席											
エコフェアいちほら(市原市)、浦安市環境フェア、エコメッセ2012 in ちば		全員		1	2	3	4	5			
④他団体との協働 エコメッセ環境協働創造市へ参加		宮下		1	2	3	4	5			
⑤職業能力開発促進センターへ講師派遣		平間		1	2	3	4	5			
◆各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題 (Check)											
①フォーラムではどうすればより多くの一般市民に参加してもらえるかが課題。他団体と協働開催できれば動員などで参加者増が期待できる。											
②世話人会では新規の世話人加入が課題。新規世話人1人達成。さらに増員したい。											
③通常のパネル展示だけではブースに人が寄らなくなってきた。どうすれば太陽光発電に関心を持ってもらえるか。人寄せのための何らかの工夫が必要。											
④他団体との協働の機会を増やせば、その分活動が活性化する。											
⑤個人頼りの状況となっている。後継者が確保できるかは課題。太陽光発電施工は受講者激減状態でセミナーが存続するかどうか心配がある。											
◆活動記録 (*概要を書き込み、全体像を記録してください) (Do)											
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
世話人会 エコフェアいちほら 浦安市環境フェア	2012年度 PV-Net 総会	職業能力開発促進センターへ講師派遣 第1回銚子市市民環境講座へ講師派遣	エコメッセ2012inちば出展 世話人会	埼玉地域交流会応援要請対応で相談員派遣 太陽光発電フォーラム2012 in ながれやま 世話人会	職業能力開発促進センターへ講師派遣 市民発電所見学(静岡県伊豆)	世話人会	市民活動展参加 世話人会	職業能力開発促進センターへ講師派遣 世話人会	世話人会	浦安市環境フェア 世話人会	市民活動展 職業能力開発促進センターへ講師派遣 世話人会

PV-Net東京2012年度活動計画&実績		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実績		
外部行事・イベント	全国				リオ+20	FITスタート			COP18							
	東京地域			2-3エコライフ			小平フェス	武蔵野		RE2012						
	PVN会議・行事		19理事会	30理事会	28総会			理事会		関東B		2理事会	関東B			
	会報発送				○				中旬			○	下旬			
重点課題項目		目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
【1】地域密着型ソーラー普及事業モデルづくり	①地域の市民団体との協働事業	計画													杉並で設置者宅見学バスツアー&セミナー実施。東大和中央公民館、中野環境市民の会でソーラー入門セミナー。小平で省エネ&創エネセミナー。計60名参加。	
	ソーラー入門セミナー	2地域×2回=50人満足度4.5			杉並								東大和	中野小平		
	パンフ頒布	2地域=100部	2012改訂												イベントでの頒布は低調。実物パネル展示の中、キャッチアップが課題。東都生協以外の事業化には着手できず。	
	PV見積診断	5件														
	出資型市民共同発電所	小平初号機	組織立ち上げ	スキーム	設置場所	事業計画	NPO設立	NPO設立	事業計画	事業計画	出資募集	出資募集	稼働	点灯式	NPOこだいらソーラーの1号機支援。2月稼働。フォーラム、点灯式も盛況。エコメッセ出資型1号機にも協力。	
	②協賛確保		計画	営業											①や③と絡めた協賛依頼営業ができなかった。パンフ2013年度版で広告協賛依頼中。	
ソーラー関連	2社20万円															
その他	2社10万円															
【2】活動PR・会員拡大	③自治体との協働														自治体との直接的協働はセミナー講師以外は実現せず。東京都環境局とは情報交換。	
	セミナー協賛	2地域														
	協働モデル事業(事務局マター)	1地域	多摩28市町村⇒0													
【2】活動PR・会員拡大	①イベント出席				エコライフ、杉並			小平フェス	武蔵野	ライフスタイル					毎年の地域のイベントには出席。	
	展示強化				パネル制作	杉並									PV-Net紹介パネル(A0)、Q&Aパネルは制作。(A3では小さかった)	
	会員拡大	10人													未達。誰に何をPRするのか、原点から要検討	
	②ポスト・インに改めて取り組む			計画	計画										未実施	
	ツール再整備														未実施	
ポスト・イン	100件													未実施		
【3】組織活性化... 一般会員とのコミュニケーション強化	連絡網整備	ML、FAX			○										進まず。MLの活用について要検討	
	情報発信強化	ML、レター発行4回			計画										アンケート実施。	
	見学会	3回・参加のべ50人				8.9月企画	8.9月案内	●見学会①		12月企画	12月案内	●見学会②	3.4月企画	3.4月案内	第3回	①世話人5+会員5 ②世話人5+会員8
	PV健診参加率↑	現0%→0%				案内発信	現状把握									未達成。サーバの改善が必要
フォーラム東京(地域総会?)	会員参加50人														未実施。集客方法について要検討。	

◆2012年度の活動の振り返り～Plan、Do、Check～		神奈川地域		記入者：横谷公雄		作成日 2013/5/15					
◆2012年度の活動目標や活動計画 (Plan)		◆担当・該当企画など (Do)		◆各項目の達成度 (Check)							
				1: 全く達成できなかった	2: 達成できないことが多い	3: 最低限達成できた	4: かなり達成できた	5: 十分達成できた			
1. 県下各地で行われる環境イベントへの参加PV不具合対応の推進	「アジェンダの日2012」	1	2	3	④	5					
	「ひらつか環境フェア」	1	2	3	④	5					
	「さがみはら環境まつり」	1	2	3	4	5					
	「ヨコハマ環境行動フェスタ」	1	2	③	4	5					
2. 青少年のための「科学の祭典」への参加	「科学の祭典」	1	2	3	④	5					
3. 見学会	「川崎天然ガス発電所」ほか	1	2	3	4	⑤					
4. 地域会員ならびに市民との勉強会など	「フォーラム神奈川2012」	1	2	3	4	⑤					
5. ワークショップ、モジュール1枚で独立電源を作る	「出前発電所を作ろう！」	1	2	3	④	5					
◆各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題 (Check)											
<p>県下各地で行われる環境イベントには、積極的に参加してきたが、世話人の高齢化、人手不足などがあり、厳しい状況</p> <p>●世話人の補充と世代交代が求められるが、非常に難しい。○出展料を必要とするイベントもあるが、NPOには免除してほしい。</p> <p>次代を生きる子供たちへの働きかけ</p> <p>●出前授業を計画したが、引き合いの学校がない。平塚の小学校では毎年行われている</p> <p>見学会は見学場所の選定に苦慮</p> <p>●日程が見学先の都合で左右される。参加人数が読めない。遠隔地で、宿泊を伴うようなものも計画すべきなのか迷う。</p> <p>毎年の「フォーラム神奈川20--」の開催が一番のイベント企画</p> <p>●なるべく大勢の参加をめざし、有名な講師の講演などを企画したいが、講演料などで難しい。事務局企画より安くやれという縛りも疑問。</p> <p>独自のイベントを企画したいが、時間と予算の問題が</p> <p>●日程的と、人手不足と予算に制約される。</p>											
◆活動記録 (*概要を書き込み、全体像を記録してください) (Do)											
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
「アジェンダ日2012」	「ひらつか環境フェア」	①「科学の祭典2012」 ②見学会 ③上溝南おひさまフェスタ」	「さがみはら環境まつり」	ほどがや区民まつり	「ヨコハマ環境行動フェア」		「フォーラム神奈川2013」	「大野台おひさまフェスタ」	①「出前発電所を作ろう！」 ②「ひらつか市民活動発表会」	「出前発電所を作ろう！」	

◆2012年度の活動の振り返り～Plan、Do、Check～		山梨地域		記入者：芦澤公子		作成日 2013/4					
◆2012年度の活動目標や活動計画 (Plan)		◆担当・該当企画など (Do)		◆各項目の達成度 (Check)							
				1: 全く達成できなかった	2: 達成できないことが多い	3: 最低限達成できた	4: かなり達成できた	5: 十分達成できた			
1. 市民共同発電所事業～共同発電所の有効活用～											
手作り太陽光発電パネル体験教室等の開催		中村豊春		1	2	③	4	5			
見学会・学習会の開催		芦澤泰徳		1	2	3	4	⑤			
2. 組織強化～PVネットの周知～											
PVグリーンの周知		芦澤泰徳		1	2	③	4	5			
会員の拡大		中村豊春、前島弘一		1	2	3	④	5			
世話人会の開催		芦澤公子		1	2	3	4	⑤			
3. 自治体他各種団体との連携											
防災団体などとネットワークして災害時の有効利用について広める		芦澤公子		1	2	③	4	5			
ライトダウン甲府パレーとの協働		中村豊春、小林延雄		1	2	3	4	⑤			
各種プロジェクトなどへの参加		芦澤公子		1	2	③	4	5			
◆各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題 (Check)											
◆活動記録 (*概要を書き込み、全体像を記録してください) (Do)											
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
	10日世話人会 29日小瀬エコブース出展		4日世話人会	2日世話人会 5日山梨県地球温暖化防止センターコンソーシアム会議出席	3日ライトダウン甲府パレー八代会場担当 16日山梨県地球温暖化防止センター主催「排出権取引」学習会に芦澤が講師担当 22日世話人会	2日太陽光発電学習会開催	23日世話人会	26日山梨県地球温暖化防止センターコンソーシアム会議出席		19日世話人会	

◆2012年度の活動の振り返り～Plan、Do、Check～		富山地域		記入者: 堀川 均		作成日 2013/6					
◆2012年度の活動目標や活動計画 (Plan)		◆担当・該当企画など (Do)		◆各項目の達成度 (Check)							
				1: 全く達成できなかった	2: 達成できないことが多い	3: 最低限達成できた	4: かなり達成できた	5: 十分達成できた			
地球温暖化防止活動 シンポジウム開催		堀川 均		①	2	3	4	5			
PV-Netの活動を市民に周知 「とやま環境フェア2012」出展		小川 晃、堀川 均、小島金作		1	2	3	4	⑤			
PV-Netの活動を市民に周知 「射水市くらしと環境フェア」出展		堀川 均、久々江とみ子		①	2	3	4	5			
◆各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題 (Check)											
課題は、とにかく行動あるのみだと考えています。次年度は、組織を新たに構築し直し、積極的に活動を行います。											
◆活動記録 (* 概要を書き込み、全体像を記録してください) (Do)											
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
				「とやま環境フェア2012」出展							

◆2012年度の活動の振り返り～Plan、Do、Check～		中部地域		記入者: 三浦悦夫		作成日 2013/5/14					
◆2012年度の活動目標や活動計画 (Plan)		◆担当・該当企画など (Do)		◆各項目の達成度 (Check)							
				1: 全く達成できなかった	2: 達成できないことが多い	3: 最低限達成できた	4: かなり達成できた	5: 十分達成できた			
1. 暮らしの中のPVと省エネ生活をみんなが“楽しんで”さらに“つながり”が広がる議論をふかめましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・PVをはさんだ“つながり”“きずな”を確かめる活動 ・エコハウス暮らし方交流会の実施 ・via サン・エコライフ学校の運営 ・縁側くんワークショップの実施 	野原、武田、三浦		1	2	③	4	5			
		武田、陣野		1	2	③	4	5			
2. “1枚からの太陽光発電の利用”・縁側君のススメ(数量的普及より内容的信頼を前提に) via サン・エコライフ学校の運営と独立系PV”講”を今年も進めます	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体や生協との協働 ・PV-Netの紹介やプレゼンの工夫 	野原、陣野、吉田		1	2	3	④	5			
		陣野、吉田		1	2	3	④	5			
3. 会員にとって身近なPV-Net組織作りをすすめましょう。引き続き会員の家族みんなが楽しめる活動と企画をたてましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー事務所としての活動の準備 ・ソーラヘルプ・デスクの日常化 	吉田、三浦		1	2	3	④	5			
		三浦、林		1	②	3	4	5			
4. 節電の工夫と持続的な省エネの工夫と交流をしましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局体制 ・外部スタッフ(協力者の拡大) 	陣野、吉田		1	2	③	4	5			
		三浦、林		1	2	③	4	5			
5. 相談員体制を充実させましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体との連携 ・商工会、企業のグリーン電力証書活用の促進 ・大垣交流会の足がかり 	野原		1	2	3	4	⑤			
		三浦		1	②	3	4	5			
6. PV-Green事業を通し	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン電力への参加 ・グリーン電力実務体制の移管 	野原		1	2	3	4	⑤			
		三浦		1	②	3	4	5			
◆各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題 (Check)											
1枚からのPVの利用を普及したい。事業としても成立させたい via サン・エコライフ学校の運営											
◆活動記録 (* 概要を書き込み、全体像を記録してください) (Do)											
5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	5月
10日 世話人会 20日 自治体学校発表 30日 都筑さんとの懇談会 31日 三島市民共同発電所見学	30日 ホテルの会	2日 中津川市民共同発電所現地見学	25日 一宮生協こども教室	1日 中津川PVファンド 11日 世話人会 22日 中津川市民共同発電所打合せ	4日 打合せ(いちにさん) 6日 縁側くんWS 12日 中津川市民共同発電所打合せ 31日 野原さんLLP説明	4日 中津川環境フェス 16日 市民共同発電所打合せ	8、9日 縁側くんWS	16日 世話人会 17日 南陽中学校外学習	2日 エコハウス暮らし方交流会 17日 多治見環境フェア 20日 世話人会	1日 中津川ファンド説明会	15日 世話人会

◆2012年度の活動の振り返り～Plan、Do、Check～		関西地域		記入者：岸本康子		作成日 2013/6					
◆2012年度の活動目標や活動計画 (Plan)		◆担当・該当企画など (Do)		◆各項目の達成度 (Check)							
				1: 全く達成できなかった	2: 達成できないことが多い	3: 最低限達成できた	4: かなり達成できた	5: 十分達成できた			
8月26日 「ますます活躍する太陽光発電」と題しての講演と関西会員の交流集会	世話人	1	2	3	4	5	⑤				
10月28日 省エネ、創エネ生活を楽しく、と題してソーラークッカー制作、試食	世話人	1	2	3	④	5					
11月24日 太陽光発電設置者との交流、情報交換を目的に会員めぐり	世話人	1	2	3	④	5					
12月7、8日 大阪・豊中市市民環境展参加	世話人	1	2	③	4	5					
2月24日 「これからの自然エネルギー社会に向け、私たちのできる」と題してセミナー	世話人	1	2	3	④	5					
3月3日 みのお市民活動センターにて「再生可能エネルギー／市民共同発電所」講演	世話人	1	2	3	4	5	⑤				
◆各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題 (Check)											
<ul style="list-style-type: none"> ・広報の手段を工夫し、会員以外へどのようにして広げていけるかがいつも課題としてある。 ・会員の関心ごとは流動的で、また、幅が広い。絶えず関心と興味を持ってもらえるような情報提供できるような専門性が必要。 ・会員になることでのメリットが目に見えるような会にする必要がある。 ・社会の流れを再生可能エネルギーに向けていくためPV-Netにはどのようなことができるか考えていく必要がある。 											
◆活動記録 (* 概要を書き込み、全体像を記録してください) (Do)											
6月	7月22日 世話人会	8月26日 関西交流集会	9月16日 世話人会	10月28日 ソーラークッカー作り	11月24日 会員めぐり	12月7、8日 豊中市市民環境展	1月20日 世話人会	2月24日 セミナー	3月3日 みのお講演会 3月12～14日 河内長野環境展 31日世話人会	4月	5月12日 世話人会

◆2012年度の活動の振り返り～Plan、Do、Check～		京都地域		記入者：中村和蔵		作成日 2013/5					
◆2012年度の活動目標や活動計画 (Plan)		◆担当・該当企画など (Do)		◆各項目の達成度 (Check)							
				1: 全く達成できなかった	2: 達成できないことが多い	3: 最低限達成できた	4: かなり達成できた	5: 十分達成できた			
①4月京エコロジーセンター開館10周年記念イベントに展示解説参加	世話人会	1	2	3	④	5					
②7月京都薬科大学の240枚のパネル見学	世話人会	①	2	3	4	5					
③10月京都市が企画する「未来フェスタ京都2012」イベント参加。	世話人会	1	2	3	④	5					
④11月「2012PV-Net京都イベント『会員宅訪問』。大いに交流できた	世話人会	1	2	3	4	⑤					
⑤11月「PV-Net京都フォーラムⅠ」(スマートグリッドとエネルギー選択)	世話人会	1	2	3	④	5					
⑥12月「PV-Net京都フォーラムⅡ」(市民が創る再生可能エネルギー)	世話人会	1	2	3	4	⑤					
◆各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題 (Check)											
①は、効果的な解説パネル、PPTが準備され、子ども向けのgoodsが必要であり、解説する参加者があるとよかった。											
②は、研修会で、薬大の施設課長と知り合い、見学を希望したが、条件が合わず、実施できなかった。2013年度には実施したい。											
③は、京都市が今年から企画実行した「未来フェスタ京都2012」に参加したが、①と同様、子供向けgoodsを確保したい。											
④は、地球温暖化防止推進員で、京エコロジーセンターのエコサポーターで2012年に4kwのパネル自宅設置の新会員のお宅。大成功だった。											
⑤は、山藤泰先生の「スマートグリッドと将来のエネルギー選択」で、発送電分離の課題と、地域エネルギー共有の重要性。今後の展望あり。											
⑥は、和田武先生の「世界のエネルギーの動向と市民が創る再生可能エネルギー」大変好評だったが、PV-Net会員の参加が少ない。											
感想： 何れのイベントも、京都市(京エコロジーセンターの環境保全活動助成金事業)の補助を受けての事業【2012年度は98,335円】です。 その都度、京都会員には、メールなどで広報していますが、会員の参加が、毎回5名～7名、その他、関西のPV-Netのメンバー5名、そして京都の市民賛5～10名程の参加です。今後も、(1)会員の要望、期待に応えるイベント企画。(2)広報の方法。(3)会員の連帯感を如何に高めるか。											
◆活動記録 (* 概要を書き込み、全体像を記録してください) (Do)											
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
4月のイベント反省。京都薬科大学の240枚のパネル見学打合せ。	会員訪問企画	10月の未来フェスタの打ち合わせ。	京都フォーラムⅠの企画と講師依頼。	京都フォーラムⅡを企画、講師依頼。	会員訪問企画と京都フォーラムⅠ企画実行	京都フォーラムⅡを実施。書籍販売。	2013年度の助成金獲得を模索。平和堂財団へ申請。京エコロジーセンター申請	助成金獲得模索 (1)夏原グラント、(2)京都市(京エコロジーセンター)応募。	(1)夏原グラント不採用 (2)京エコロジーセンター不採用。2013年度の活動企画出来可能か。	その他の助成金の模索。	京都ごみ減量協議会の助成金事業に応募。

◆2012年度の活動の振り返り～Plan、Do、Check～		山口地域		記入者： 溝田忠人		作成日 2013/7/1					
◆2012年度の活動目標や活動計画 (Plan)		◆担当・該当企画など (Do)		◆各項目の達成度 (Check)							
				1: 全く達成できなかった	2: 達成できないことが多い	3: 最低限達成できた	4: かなり達成できた	5: 十分達成できた			
基本的な活動を定期的に(世話人会の定期化、会員への連絡)				①	2	3	4	5			
イベントへの参加				1	2	3	4	⑤			
地域での取り組み、資料の整理、ゼミ				1	2	3	④	5			
◆各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題 (Check)											
代表世話人一人で会計をこなすのみで、会員への基本的な働きかけが出来ない。宇部、周南、山口のイベントは広がり、ソーラーカー工作を通じて子供への働きかけが広がった。ソーラーカーは計165台提供した。											
◆活動記録 (*概要を書き込み、全体像を記録してください) (Do)											
6月ゼミ「環境とエネルギー」	7月ゼミ「環境とエネルギー」	8月ゼミ「環境とエネルギー」 Happy Air Port山口空港イベントソーラーカー工作20台	9月ゼミ「環境とエネルギー」	10月ゼミ「環境とエネルギー」 山ロリサイクルプラザソーラーカー工作30台	11月ゼミ「環境とエネルギー」 宇部まつりソーラーカー工作17台。宇部マーケットソーラーカー工作11台。エコフェア2012 in UBEソーラーカー35台。	12月ゼミ「環境とエネルギー」	1月ゼミ「環境とエネルギー」	2月ゼミ「環境とエネルギー」	3月ゼミ「環境とエネルギー」	4月	5月

◆2012年度の活動の振り返り～Plan、Do、Check～		佐賀地域		記入者： 西森秀夫		作成日 2013/6/18					
◆2012年度の活動目標や活動計画 (Plan)		◆担当・該当企画など (Do)		◆各項目の達成度 (Check)							
				1: 全く達成できなかった	2: 達成できないことが多い	3: 最低限達成できた	4: かなり達成できた	5: 十分達成できた			
会員がPV-Netの活動やPV健康診断についてより深く理解できるよう努める				①	2	3	4	5			
HPを充実し、会員との情報交換を図るよう努める				①	2	3	4	5			
会員自身、自立運転の理解を深める				①	2	3	4	5			
ソーラーマイレージの取り組みを紹介し、広く理解を深めるよう努める。				①	2	3	4	5			
HPに紹介しソーラーマイレージの理解を図るよう努める				①	2	3	4	5			
定期的世話人会を開催する。				①	2	3	4	5			
新たに世話人になってくれる会員をさがす。				①	2	3	4	5			
◆各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題 (Check)											
平成24年度も佐賀地域交流会は休眠状態でした。 どなたか、世話人として会の音頭を取っていただけの方はいらっしゃいませんか。 連絡先TEL0952-66-3638											
◆活動記録 (*概要を書き込み、全体像を記録してください) (Do)											
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月

◆2012年度の活動の振り返り～Plan、Do、Check～			宮崎地域		記入者: 楠見 博		作成日 2013/5/10				
◆2012年度の活動目標や活動計画 (Plan)			◆担当・該当企画など (Do)	◆各項目の達成度 (Check)							
				1: 全く達成できなかった	2: 達成できないことが多い	3: 最低限達成できた	4: かなり達成できた	5: 十分達成できた			
・世話人会を年6回			役員全員	1	2	3	4	5			
・PV-Net会員の交流会を年2回			役員全員	1	2	3	4	5			
・PV-NetとPV-Greenの説明会			役員全員	1	2	3	4	5			
・宮崎県・都城市・川南町等との連携			役員全員	1	2	3	4	5			
・各種イベントへの出展・マスコミへの働きかけ			役員全員	1	2	3	4	5			
・太陽光発電の相談窓口開設			役員全員	1	2	3	4	5			
・太陽光発電の自立運転と省エネの啓発			役員全員	1	2	3	4	5			
◆各目標や計画で「ここが変われば成功する」という課題や、次年度への課題 (Check)											
<ul style="list-style-type: none"> 宮崎県地球温暖化防止活動センターと宮崎県環境情報センターと連携してPV-GREENの説明会を実施していく 災害時の太陽光発電の活用法について説明会を実施していく 太陽光発電相談窓口をホームページで常時受付する 災害時の太陽光発電の活用法について説明会を実施していく 生活スタイルの見直し、省エネの重要性について啓発していく 太陽光発電の屋根貸し事業（遊休地・屋根貸しする物件をホームページに情報提供し、施工業者とのマッチングを行う） 											
◆活動記録（*概要を書き込み、全体像を記録してください）(Do)											
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
総会 川南町子ども フェスティバル 役員会	佐土原小学 校・高岡町サ マースクール でソーラー カー製作 役員会	科学技術館・ コココーラー・ 日南市のサ マースクール でソーラー カー製作	延岡市・日向 市新エネ勉 強会 役員会	都城市新エ ネフェア 宮崎県トラク ク協会新エネ フェア 役員会	美郷町新エネ フェア 役員会	宮崎市役所 北地区セン ターで太陽光 発電勉強会 役員会	役員会	都城市庄内 町町地区公 民館で太陽 光発電贈呈 式・勉強会	役員会	役員会	川南町子ども フェスティバ ル 役員会

●3号議案 2013年度活動方針(案)

I) 全体概要

<大方針>

市民の自立的「太陽エネルギーの活用と普及」をサポートする活動をすすめる。

市民の立場・目線から健全かつユニークなエネルギー社会の構築をめざし積極的な活動を進めてきたPV-Netの活動は今年の5月でついに10周年目を迎えました。自然エネルギー、特に太陽光発電の普及団体の中では会員数、活動範囲とも国内最大となる当会の歩みは、市民の手による自然エネルギー普及活動の歴史そのものでもあります。

3.11からの圧倒的危機感と全量買い取り制度の導入により、自然エネルギーへの関心が大きく市民に広がりを見せ、個人住宅を中心に進められてきた日本型普及の在り方も、大きな流れの中で集合住宅、大規模ソーラー、屋根貸しなど普及形態は多種多様になってきています。

私たちが蓄積してきた活動・発電システムに関するノウハウはこれから太陽光発電へ携わる多くの市

民にとってお手本となる貴重な情報源であり、また、普及における市民目線の哲学は、単なる大容量発電の代替としての自然エネルギー普及ではなく、自然と共生し市民性を持ったエネルギー社会を構築する指針となってきています。PVを地産地消のツールとして生かしてきたPV-Netの実績を基に太陽エネルギーの活用と普及をサポートする社会活動を積極的に行っていきます。

特にこの会と共に歩んできた多くの会員のシステムも会の歩み同様10年を超えるものが多数出てきています。保証期間が過ぎたPVシステムの健全な維持・管理方法を市民の手でサポートしていく方法を模索していくことがPV-Netの大きな役割の一つと考え、とそちらの方面も尽力していく方針です。

[重点項目と具体的活動]

重点目標1 地域交流会の充実と相互交流（活動基盤づくり）

「発想は地球規模に、活動は足元から」と言います。PV-Netの活動の原点・出発点は会員そして地域の活動です。変化の激しい時代の中で、10周年を越えた私たちは初心に帰るとともに新しい時代に対応した活動を創り出し、提示していく必要があります。

これまでの実績を振り返ると、会員が参加しやすく、交流できる直接的な「場」として毎年自主的に各地域交流会で開催されている地域フォーラムがあります。このフォーラムは地元の地域にも積極的に開いたものとして取り組んでいます。また、PV-Netが外に向かって発信する場として重要な「場」にもなっています。固定価格買い取り制度で大量普及が進んでいるなかで、起こっているさまざまな課題と

意義を提示する役割がPV-Netには今ほど強く求められていたことはありません。積極的にこの「場」を盛り上げ、展開し、さらに各地域の相互交流と切磋琢磨を進めて近未来の自然エネルギーベースの地域社会の実現の礎を積み上げていきます。

(1) 各フォーラムの実施内容のデータベース化と大集合イベントとの連携

これまで以上に地域フォーラムを豊かに開催していきますが、PVを設置することが目的であったこれまでの内容から、いかにPVの生涯発電量を確保・保証し、さらにそのグリーンなエネルギーの多様な活用をフォーラムで共有しつつ、その実践を記録・

整理しデータベース化し、広く活用できるようにします。

(2) ブロック会議の活性化

現在、PV-Net の組織として4つのブロック（関東・

中部・関西・九州）がありますが、自然発生的なグループ化をしてきました。PV-Net の活動実態に合った見直しを図るとともに、全国対応の理事会の領域とは違った地域に沿った活動を明確化し、近隣ではならの相互活動を進めるようにします。

重点目標2 個人PVの実用的なソーラーライフを繋ぐ

今やメガソーラーが華ともてはやされますが、小規模分散型の地域社会の主役は個人PVです。それにしては屋根の上に設置し、満足して終わっている例が圧倒的です。PVにはもっと楽しく有意義な使い方や、心を癒す役割など未開拓なものがあります。PVを豊かに活用することを「ソーラーライフ」と名付け、すでに各地、各人で先駆的に実践されている「ソーラーライフ」を紹介し合い、その輪を広げ、自然エネルギーが主役のエネルギー社会の実現に繋がっていきます。

(1) 小諸エコビレッジの活用とソーラーキッズ

小諸エコビレッジには12.6kWの市民共同発電所をPV-Netとして設置しました。PV-Netとしては実践の機会を持つという意味でも大きな一歩です。エコビレッジではPVを始めとして自然エネルギーを実際に手に取り体感できる実験的な施設の設置とその活用を進めています。つ

まり「ソーラーライフ」の実践の場の建設と、それを活用する講座やフォーラムの場を提供することを目的としています。

PV-Netの将来を担う人材の育成も小諸エコビレッジの活用の一環であり、小・中・高校生を対象にした「エコキッズ」ならぬ「ソーラーキッズ」の開催を実施していきます。

(2) 先進事例の交流とネットワーク

(事例集の作成・大集合イベント)

省エネや太陽熱エネルギーも含めた太陽エネルギーの「ソーラーライフ」活用・実践の先進事例を、各地のフォーラムや小諸エコビレッジで行いながらその集大成として大集合イベントや総会イベント等へ繋げていきます。新しい「ソーラーライフ」の応用への発展もこれからのエネルギー社会をイメージしていく時には大きな指標になると思われ、積極的に提言を行っていきます。

重点目標3 事業活動の基盤整備と発展へ（経済基盤の確立とサポート活動）

継続的な活動を維持するためにも財政基盤づくりは最重要事項となっています。PV-Netは、エネルギーシフト・豊かなソーラーライフといったキーワードを掲げ、市民の自主自立的そして共同利用を通じたエネルギー社会の構築を実現するため各種活動を行ってきました。これらの活動は事業化し、財政基盤と結びつけることで事業活動と経済基盤の両方の発展へ結びついてきました。今年はそれらのさらなる発展に力を入れていきます。また、地域との協働

事業も進め、地域との交流と連携を深め、PV-Netの活動基盤も強めていきます。

(1) PV-Green 事業の継続・発展

地産地消の環境価値の普及の一翼を担うPVグリーン活動のより一層の発展に取り組みます。

- ①地域・部会・事務局による三位一体の販売・普及体制の確立ーみんなで作るPV-Green
- ②市民電力会社を視野に入れた基盤づくり

(2) 市民ファンドサポートセンターの継続・発展

昨年度は市民共同発電所の建設を通し、被災地支援（岩手県野田村だらすこ太陽光発電所）を積極的に行ってきました。今年度も市民共同発電所の建設を通し被災地を積極的に支援していきます。

- ①サポート実績の向上
- ②サポート体制の基盤整備と充実化
- ③地域との連携によるサポート体制の構築
- ④市民共同発電所の普及活動を行う
- ⑤地域エネルギー社会への主体的参加
- ⑥センター活動を通じた被災地支援の継続

(3) PV 教育事業

昨年度同様、太陽光発電の市民育成に力を入れていきます。

- ①ポリテクセンター、日本住宅性能協会等の教育事業との連携
- ②教育事業のカリキュラムの作成

(4) 相談事業

会の基盤である PV 健康診断をより活用・発展させた事業に取り組んでいきます。

- ①PV 健康診断を利用した発電サポート事業の発展と拡大
- ②機器を利用したメンテナンス事業の検討
- ③相談員（アドバイザー）の育成

(5) 助成・委託事業の受託

会の財政基盤と活動双方にプラスとなる助成金・委託事業の獲得に努めます。

- ①助成・受託事業の積極的な獲得

(6) その他新規事業の模索

10年を超える PV システムの現状や今後の維持管理に関する各種事項について調査し、事業化できる内容を検討していきます。

- ①保険事業と会員拡大
- ②10年を経過した PV に関する調査・研究

重点目標 4 普及広報活動の強化

PV-Net 活動をより多くの方に認識してもらう事が会の活性化にも繋がるため、今年度も引き続き情報発信に力を入れていきます。同時に、発送電分離や電力自由化課題などエネルギーに関する社会情勢が大きく河東路する節目である今、より市民性をもった政策となるような政策提言や社会

的な情報発信も充実させていきます。

- (1) ホームページ掲載情報内容の充実
- (2) 会員への情報提供の充実
- (3) 政策・社会に関する政策提言

重点目標 5 事務局体制の強化と地域サポート体制の強化

設立 10 年を迎え、事務局体制も変わってきました。より専門性の高い人材を育成及び確保し、充実した活動に結び付けるとともに、活動の整理に着手し、地域活動に活かせるツールづくりを進めていきます。各事業の受託を目指した事務局独自の活動基盤をより充実させるとともに、地域との連携・協働を並列的に進めていきます。

- (1) 人材確保とスキルアップ
- (2) 地域活動で活用できる各ツールの充実・発展
- (3) 独自基盤及び地域との連携基盤の構築と充実

Ⅱ) 2013 年度 各地域交流会の活動方針 (案)

■茨城地域交流会

固定価格買取制度は 2 年目を迎え、今後は自治体などが財政収入の補完と環境行政の面から、一段と公共のソーラー設置が進むと期待される。一方、設置にあたって個人以上に景観や多面的関係者との十分な公共に特有の利害配慮が要求されよう。パブリックコメントの役割が求められる。

1. PV に関する地域、自治体との環境、自然エネルギーの共同活動
2. PV 設置に関するトラブル、公正な情報提供と相談
3. メガソーラー、パネルメーカー見学、PV 技術情報の収集
4. 世話人、会員の勧誘、活動拡大

2013 年度予想経費：12 万円（2 万円×6 回）

■群馬地域交流会

昨年度に引き続き、「世話人会の定例化と充分なる議論の場を保証」ならびに「情報の共有化」に努め、世話人として参加してもらえる仲間の獲得を年間を通じた最大課題としてとらえることとします。原点に立ち返り「会員への声かけ」をできるところから進めます。仲間が求める事業を共に考えることとします。地域財政の確立を念頭に調査・研究は継続します。

■埼玉地域交流会

1. 会員拡大活動を推進
 - ・PV-Green に頼るのではなく、情報提供と PV 健康診断を中心に活動
 - ・埼玉のホームページのリニューアル
2. 市民共同発電所設置に協賛・協力
 - ・地域の団体との協力
 - ・独自の設置も検討する
3. 節電・省エネの推進
 - ・節電行動アンケート実施と分析、会員へのフィードバック

・相談会・講演会への参加を促し、賢い太陽光発電ユーザーを育成

4. 各種団体とのイベント共催

・県、自治体と協働・連携してイベントに参加
・見学会・フォーラムの開催による会員の交流の場の提供

5. 世話人会の定期開催

・毎月、月初めの土曜日の定例開催
・埼玉地域交流会の年間活動推進と報告

■千葉地域交流会

1. 地域フォーラムの開催（自治体との連携）

銚子市で開催予定（10 月 12 日）
世話人会 毎月第 4 土曜日（原則）

2. イベント出展

- (1) エコフェアいちほら（6 月 15 日）
- (2) エコメッセ 2013 in ちば（9 月 28 日）
- (3) 自然エネルギーを広めるネットワークちば

3. 職業能力開発促進センターへ講師派遣

- (1) 「住宅エコ電気設備施工」講座（8、2 月）
- (2) PV システムの設計施工（11、5 月）

4. 他団体の勉強会や学習会などへ講師派遣

- (1) 地産・地消の太陽光発電を考える学習会（エコライフあびこ、6 月）
- (2) パルシステム千葉勉強会（7 月）

■東京地域交流会

1. 地域密着型ソーラー普及事業モデルづくり

地域の市民団体と連携し、ソーラー啓発活動と、市民共同発電事業、個人住宅設置支援事業を進める

- (1) 啓発事業
 - ・地域団体・自治体と入門セミナーを開催
 - ・イベントでパンフ配布
- (2) ソーラー普及事業
 - ・出資型市民ソーラー支援事業
 - ・個人設置支援事業

(3) 自治体との協働

- ・セミナー共催等できることから発信を続ける

2. 活動 PR・会員拡大

PV-Net の活動を対外的に PR し、会員を拡大する

- (1) イベント出展 ・展示、訴求見直し／会員拡大
- (2) ポスト・インに改めて取り組む ・ツール整備

3. 組織活性化

一般会員とのコミュニケーションを強化し、会員の希望に沿った企画を実施することにより満足度を高め、組織基盤を強化する。

- (1) 情報伝達 ・連絡網整備、情報発信強化等
- (2) 地域企画 ・学習会・見学会、フォーラム東京
- (3) 財政強化 ・協賛依頼

■神奈川地域交流会

1. 説明会や相談会などを開き、会員ならびに一般置者に対してアドバイスを行う
 - (1) 「PV 健康診断」のやり方について
 - (2) 太陽光発電および太陽熱などの自然エネルギー利用と省エネについて
2. 県下で開催される各種環境イベントに参加して、太陽光発電導入、普及・啓発活動を行う
 - (1) 「アジェンダの日 2013」
 - (2) ひらつか環境フェア
 - (3) さがみはら環境まつり、ほどがや区民まつり
3. 会員および一般市民との交流や支援活動
 - (1) ワークショップ「出前発電所を作ろう！」
 - (2) 「フォーラム神奈川 2014」、見学会の開催
 - (3) 青少年のための「科学の祭典」、出前授業

■山梨地域交流会

1. 市民共同発電所事業 ～共同発電所の有効活用
 - (1) LED 工作教室の開催 (11 月)
 - (2) 見学会または学習会の開催
2. 組織強化 ～PV-net の周知～
 - (1) PV-net、PV-Green の周知
 - (2) PV-net のメリット集約・会員の拡大
 - (3) 世話人会の開催 (年 4 回)

3. 自治体他各種団体との連系

- (1) 他団体とネットワークして、今後の共同発電所設置の模索、災害時の有効活用の啓発等を行う
- (2) ライトダウン甲府バレーとの協働 (11 月)
- (3) 各種プロジェクトなどへの参加

■静岡地域交流会

1. 300 名組織を目指します
2. 世話人会の充実、県中部・西部地区の集会開催 (近隣グループ集会)
3. 市民共同発電所つくりと管理、合同会社運営
4. 自治体および他団体との協働、環境イベントへの出展
5. 会員との結び付き強化、フォーラム・見学会の開催など

■富山地域交流会

1. 地球温暖化防止活動
 - (1) いみず地球温暖化防止活動推進員ネットワークとの共催で、エコライフの実践に向けた「勉強会」&「交流会」を開催
 - (2) シンポジウム開催「太陽光発電のメリット、デメリット、不具合事例を知る」(仮称) 富山県&とやま環境財団の後援をいただく予定
 - (3) ひみり山杉活用協議会主催 (地産地消)「ひみり山杉新月伐採体験・見学会」を後援
2. PV-Net の活動を市民に周知=会員募集
 - (1) 「2013 とやま環境フェア」に出展

■中部地域交流会

1. 暮らしの中の PV と省エネ生活をみんなが“楽しんで”さらに“つながり”が広がる議論を深める
2. 数量的普及より内容的信頼を前提に「1 枚からの太陽光発電の利用」「縁側君のススメ」「via サン・エコライフ学校の運営」と「独立系 PV」講」を今年も進める

3. 会員にとって身近な PV-Net 組織作りを進め、引き続き会員の家族みんなが楽しめる活動と企画を立てる

- (1) 地域での交流会や講演会の開催／中部地域交流会ニュースや案内の発行
- (2) 中津川交流会の確立／大垣交流会の足がかり

4. 節電の工夫と持続的な省エネの工夫、交流を行う

- (1) PV 主婦のチエある暮らし研究会／はがき通信／交流の中身研究

5. 相談員体制を充実させる

- (1) PV-Net の紹介やプレゼンの工夫

6. 展示会や環境イベントに積極的に参加して、PV 情報の発信でいろいろな方と連系をとる

7. 中津川自然エネルギーの会との連系を深める

■関西地域交流会

1. 関西交流集会の開催

- (1) 市民共同発電所推進セミナーを開催
- (2) 大阪地域交流集会の立ち上げ

2. 創エネイベント、ソーラークッカーとミニ講演会

- (1) 古民家を改築した家の庭でソーラークッカー作りと試食
- (2) ミニ講演会

3. 太陽光発電所めぐり

- (1) 会員めぐりを行う発電所公募
- (2) 発電所訪問

■兵庫地域交流会

1. 見学会開催（2回・日時場所未定）
2. フォーラム開催（11月、3月の2回・詳細未定）
3. LEDレリーフ製作講習（2回・日時未定）
4. ミャンマーボランティア現地打合わせ（1回）
5. PVResQ講習会参加（8月19日、20日）
6. (独)環境再生保全機構補助金申請（2014年1月）
7. (財)ひょうご環境創造協会補助金申請（3月）
8. (財)ひょうご環境創造協会に太陽光発電相談員を1~2名推薦
9. 世話人会は原則隔月とするが、必要な場合はこの

限りではない

これらの活動にはかなりの個人負担が必要で、そのためには家族の協力が欠かせない。したがって、我々のボランティアに対する理解を深めてもらい、いろいろな面で家族の協力を得られるような環境づくりにも力を入れていく。

■京都地域交流会

1. 事務所確保

- (1) 昨年、京都市内に共同研究室確保を企画したが、世話人の活動範囲から離れていたため再度企画

2. 市民参加のイベント参加

- (1) 市民参加のイベントへの参加
- (2) 年間の企画を、世話人が常に共通の課題として高める。会員の参加増大の具体的方策企画会議。

3. 会員宅訪問

- (1) 世話人会で会員の中から推薦宅を挙げてもらう。（11月）

4. 大型太陽光発電施設見学+京都フォーラム企画。PV-Green 電力の現状

- (1) 大型太陽光発電施設見学企画。（8月）
- (2) 例年2つのPV-Net 京都フォーラムを企画してきたが、今年は、PV-Green 電力に関する情報の広報。会員訪問と省エネ、創エネ、節電の実践を情報交換する。

5. パネルの劣化とメンテナンス

- (1) 家庭向けソーラーパネルの劣化とその防止対策を研究する。（6月、2月）

6. パネルの保守管理に関する学習

- (1) 公共施設の太陽光パネルの保守・点検の申し出、劣化防止の対策を提案する。

7. 市民共同発電所の構想企画

- (1) 市民共同発電所の実施計画。兵庫県の前例を参考に研究する。

■山口地域交流会

1. 基本的な活動を定期的に

- (1) 世話人会年1回
- (2) メール・世話人会

- (3) 会員への連絡
- 2. イベントへの参加 — 宇部、山口、周南
- 3. 資料の整理など
 - (1) パネルの改善
 - (2) ソーラーカーの作製の手引き作成

■九州広域地域交流会（福岡地域交流会含む）

1. 組織体制の見直し
2. 市民共同発電所建設呼びかけ（仮称）セミナーを開催する
3. 九州相談員養成講座を開催し、相談員の拡充を図る
4. グリーン電力証書の九州内販売を強化する
5. 九州内の技術士会や地球温暖化防止推進センター等との連携を図る
6. 九州ソーラーネットワークとの連携活動を行う

■佐賀地域交流会

1. 佐賀地域の会員の交流をすすめる
 - (1) 会員が PV-Net の活動や PV 健康診断についてより深く理解できるよう努める
 - (2) HP を充実し、会員との情報交換を図るよう努める
 - (3) 会員自身、自立運転の理解を深める。

2. ソーラーマイレージの取り組みを通して、地球温暖化防止に資する

- (1) ソーラーマイレージの取り組みを紹介し、広く理解を深めるよう努める。
- (2) HP に紹介し、ソーラーマイレージの理解を図るよう努める。

3. 世話人会の力を高める

- (1) 定期的に世話人会を開催する。
- (2) 新たに世話人になってくれる会員を探す。

■宮崎地域交流会

1. PV-Net 会員の拡大

- (1) 世話人会を年 6 回
- (2) PV-Net 会員の交流会を年 2 回（8 月、2 月）
- (3) PV-Green の説明会（9 月、11 月）

2. 会の知名度の向上

- (1) 宮崎県・宮崎市・都城市・延岡市・日向市・日南市・川南町等との連携イベント
- (2) マスコミへの働きかけ
- (3) 太陽光発電の相談窓口開設、太陽光発電の自立運転と省エネの啓発

3. 新エネ・省エネ普及

- (1) 太陽光発電の屋根貸し事業。HP に遊休地・屋根貸しする物件の情報を提供し、施工業者とのマッチングを行う。
- (2) 省エネセミナーの開催（6 月、2 月）

Ⅲ) 2013 年度 各専門部会の活動方針 (案)

■ 組織部

1. 今年度中の早い時期に 3,000 名組織を達成し、それを力に一層の前進を図る。
2. 未組織地域の組織化。特に東北への被災地支援共同発電所つくりを足場に、地域組織ができるよう組織化に取り組む。40 名に近い会員を持つ地域については、地域交流会立ち上げを目指す
3. 地域の活動が活性化できるように援助を行う。とりわけ困難抱えている九州地域について、手立てを尽くす。
4. 優れた地域の活動が全国に広がるよう、交流および広報に努める。

■ 普及広報部

1. 会報の充実と季刊化。
2. 会報特集記事と川柳をホームページにダイジェスト掲載。
3. ホームページのさらなる充実。
4. 参加予定イベント
第 8 回再生可能エネルギー展示会
(東京ビックサイト 2013. 7. 24-26)
太陽光発電所長大集合イベント
(日時場所未定)

■ 相談室

1. PV 健康診断システムの再構築
 - (1) 独自の診断システムの併用検討
 - (2) 相談員研修会による再教育・再周知
2. 管理ページの地域アクセス
 - (1) 地域アクセスの普及推進 (運用講習会等)
 - (2) ソーラーヘルプデスクの地域分散対応
 - (3) PV カルテ未登録者の解消活動
3. 相談員の人材確保
 - (1) 地域養成講座の支援
 - (2) センターの支援機能・ツールの充実

■ 財政部

前年度に引き続き、会費の金額徴収に努めます。委託事業による補助金収入の増額を求め、各種研究を進めます。PV-Green 事業については、販売の強化に向けての研究を進めます。NPO 法人会計の各地域における担当者のスキルアップに努めることから、担当者を対象とした研修の機会を設定します。

■ PV-Green 事業部

1. 国内、全般的な観点から、今のグリーン電力市場の見極めが必要。先手を打つ施策固め。
2. PV-Green 新規参加は、PV-Net 会員拡大にもつながっているが、創設時とは違い、最近は利益を求め PV-Green に参加する方が多い。まずは、PV-Net 会員として、本人もグリーン環境価値の考え方を周囲に広め、自らセールス意識を持つことを期待し、そのためのツール作成やフォローの体制を準備する。
3. 古い発電分の在庫の活用・整理の対策を進め、かつ増大する事務作業のあらゆる改善を行う。
4. 大きなセールスも大事だが、日頃から細かい所、主催する講演会イベント、参加する講演会・イベントにセールスする等、各地域、自分達の身近なところへ活用を勧める様に常に心がける。
5. 昨年に引き続き、会員に向けファーム販売状況の「見える化」を会報等で表現する。
6. 再度、年間販売目標を 200 万 kWh と掲げる。

特定非営利活動法人太陽光発電所ネットワーク

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-10 湯島ビル 602

TEL: 03-5805-3577 FAX: 03-5805-3588

URL: <http://www.greenenergy.jp/>

E-mail: info@greenenergy.jp

収 支 計 算 書

(自)平成24年 6月 1日 (至)平成 25年5月31日

科 目	予算額(a)	実績額(b)	差異(b)-(a)	到達率	備考
I 経常収入の部					
1 会費収入	6,600,000	6,134,000	▲ 466,000	92.9%	
2 協賛金収入	0	0	0	0.0%	
3 事業収入					
自治体G電力事業	2,600,000	3,167,082	567,082	121.8%	葛飾区、大垣市、掛川市
普及啓発事業(講師派遣等)	2,500,000	4,266,257	1,766,257	170.7%	講師派遣、東都生協ソーラー普及事業、自然エネルギー学校(小諸エコビレッジ)等
市民共同・ファンド事業	1,700,000	1,235,486	▲ 464,514	72.7%	サポート事業、発電事業他
その他事業	6,680,000	922,927	▲ 5,757,073	13.8%	環境課地買い取り事業(一部)、PVG収益、地域事業など
4 助成金収入	5,900,000	6,057,315	157,315	102.7%	地球環境基金(350)、長野元気づくり支援金(240)、地域
5 寄付金収入	2,500,000	1,260,261	▲ 1,239,739	50.4%	
6 雑収入	100,000	716,220	616,220	716.2%	
7 借入金収入		22,140,000	22,140,000		
8 保証金返金収入		624,150	624,150		
経常収入合計(A)	28,580,000	46,523,698	17,943,698	162.8%	
II 経常支出の部					
1. 事業費					
(イ)普及及び啓発に関する事業					
組織費	1,800,000	1,268,090	▲ 531,910	70.4%	地域交流会費用、組織部費
普及啓発費	2,250,000	2,657,043	407,043	118.1%	普及広報部(会報関連、出展イベント費用等)、普及啓発事業(講師派遣、東都生協ソーラー普及事業、小諸エコビレッジ等)
自治体G電力事業	1,600,000	3,169,845	1,569,845	198.1%	葛飾区、大垣市、掛川市
市民共同・市民ファンド事業	2,100,000	5,028,208	2,928,208	239.4%	静岡、野田村、中津川、秋田、小諸、サポート事業、PVG
その他の事業	5,140,000	2,751,451	▲ 2,388,549	53.5%	元気づくり支援金、小諸エコビレッジ、環境省G買い取り事業、地域事業
(ロ)設置と管理の情報と相談に関する事業					
相談室費	150,000	120,180	▲ 29,820	80.1%	
(ハ)制度について意見発表に関する事業					
地球環境基金事業	3,500,000	3,571,639	71,639	102.0%	
(ニ)その他会の目的を達成するための事業					
財政部費	60,000	0	▲ 60,000	0.0%	
2. 管理費					
人件費	4,650,000	4,906,544	256,544	105.5%	福利厚生含む
有償ボランティア費	1,800,000	2,519,082	719,082	139.9%	
会議費	1,200,000	755,620	▲ 444,380	63.0%	総会費用等
印刷費	100,000	32,450	▲ 67,550	32.5%	
旅費交通費	300,000	356,680	56,680	118.9%	
通信費	750,000	789,461	39,461	105.3%	
賃借料	450,000	491,009	41,009	109.1%	複合機リース料
備品・消耗品費・備品費・修繕費	200,000	621,698	421,698	310.8%	
地代家賃・光熱費	1,800,000	1,895,405	95,405	105.3%	
支払手数料	260,000	299,548	39,548	115.2%	
雑費・雑損益・支払利息	300,000	436,048	136,048	145.3%	
租税公課費	150,000	106,500	▲ 43,500	71.0%	都民税
減価償却費			0		
地域事務局	840,000	622,650	▲ 217,350	74.1%	事務経費のみ計上
3. 予備費	80,000	0	▲ 80,000	0.0%	
4. その他の事業会計への繰出金			0		
5. 差入保証金投資支出			0		
6. 差入敷金投資支出					
7. 借入金返済支出		12,900,000	12,900,000		
当期支出合計(B)	29,480,000	45,299,151	15,819,151	153.7%	
当期収支差額(A)-(B)	▲ 900,000	1,224,547	2,124,547		
前期繰越収支差額(C)		11,383,213	11,383,213		
次期繰越収支差額(A)-(B)+(C)	▲ 900,000	12,607,760	13,507,760	-1400.9%	

貸借対照表

平成25年5月31日現在

特定非営利活動法人 太陽光発電所ネットワーク

資 産 の 部			負 債 の 部		
		金額(単位:円)			金額(単位:円)
I 流動資産			I 流動負債		
現金・預金	10,982,617		短期借入金	7,328,000	
棚卸資産	639,000		未払費用	138,975	
前払費用	183,704		前受金	795,000	
未収入金	1,520,000		仮受金	2,525,559	
立替金	800,000		預り金	995,217	
流動資産合計		14,125,321	証書預り金	1,154,500	
			基金預り金	2,333,864	
II 固定資産			流動負債合計		15,271,115
有形固定資産	8,232,130		II 固定負債		
無形固定資産	27,010		長期借入金	5,000,000	
投資等その他の資産	576,678		固定負債合計		5,000,000
固定資産合計		8,835,818	負債合計		20,271,115
			正 味 財 産 の 部		
			金額(単位:円)		
			前期繰越正味財産	11,383,213	
			当期正味財産増加額	▲ 8,693,189	
			正味財産合計		2,690,024
資産合計		22,961,139	負債及び正味財産合計		22,961,139

正味財産増減計算書

(自) 平成 24年 6月 1日 (至) 平成 25年 5月 31日

特定非営利活動法人太陽光発電所ネットワーク

科 目	金	額
I. 増加の部		
1 資産増加額		
当期収支差額	1,224,547	
差入保証金増加額	0	
棚卸資産増加額	0	1,224,547
2 負債減少額		
短期借入金減少額	0	
長期借入金減少額	0	0
増加額合計額		1,224,547
II. 減少の部		
1 資産減少額		
棚卸資産減少額	53,586	
保証金払戻	624,150	677,736
2 負債増加額		
短期借入金増加額	4,240,000	
長期借入金増加額	5,000,000	9,240,000
減少額合計		9,917,736
当期正味財産増加額		▲ 8,693,189
前期繰越正味財産額		11,383,213
期末正味財産合計額		2,690,024

会計財産目録
平成25年5月31日現在

特定非営利活動法人太陽光発電所ネットワーク

科 目		金 額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	事務局	325,636	
	茨城地域交流会	43,779	
	栃木地域交流会	123,336	
	群馬地域交流会	176,140	
	埼玉地域交流会	0	
	千葉地域交流会	101,370	
	東京地域交流会	82,828	
	神奈川地域交流会	0	
	山梨地域交流会	69,287	
	静岡地域交流会	22,029	
	中部地域交流会	0	
	関西地域交流会	26,186	
	宮崎地域交流会	157,601	
	九州地域交流会	126,990	
	佐賀地域交流会	32,767	
	富山地域交流会	150,213	
	山口地域交流会	59,185	
	京都地域交流会	118,244	
	小諸地域交流会	30,748	
	兵庫地域交流会	31,584	1,677,923
普通預金	三菱東京UFJ銀行 神保町支店 No. 2368131	4,098,966	
	三菱東京UFJ銀行 神保町支店 No. 2417857	2,717,407	
	三菱東京UFJ銀行 神保町支店 No. 2417860	231,222	
	郵便貯金 振替口座 00190-7-758332	705,069	
	楽天銀行 ロック支店 No. 7015479	705,595	
	郵便貯金 普通口座 10130-79780731	846,435	
	郵便貯金 普通口座 10100-37031031	0	9,304,694
棚卸資産			
(書籍)	太陽光発電技術者育成のための基礎知識 @1200×403冊	483,600	
(書籍)	太陽光発電の家づくり入門 @1700×4冊	6,800	
(書籍)	よくわかる自然エネルギーQ&A @1400×19冊	32,300	
(書籍)	エネルギーシフト @1400×19冊	26,600	
(書籍)	アドバイザー試験公式テキスト @2400×11冊	26,400	
(書籍)	我が家ではじめる太陽光発電 @1600×5冊	8,000	
(商品)	ミニソーラーカー @400×2	800	
(商品)	Tシャツ @2000×25	50,000	
(商品)	手ぬぐい @500×9	4,500	639,000
前払費用			
(家賃)	湯島ビルディング 倉庫家賃	8,000	
(家賃)	桐山陽子 湯島事務所 家賃	131,321	
他	リース料等	44,383	183,704
未収入金			
	PV-G事業 PV-Green証書代	1,520,000	1,520,000
立替金			
	野田村発電所 建設費	800,000	800,000
流動資産合計			14,125,321
2. 固定資産			
有形固定資産	電話設備 一式	64,273	
	液晶プロジェクター 1台	30,880	
	ビジュアルプレゼンター	20,841	
	輪転機	174,486	290,480
	機械装置(静岡市民共同発電所)	4,400,000	
	機械装置(小諸市民共同発電所)	3,541,650	7,941,650
無形固定資産	電話加入権	27,010	27,010
3. 投資等			
出資金	未来バンク事業組合	139,000	
出資金	野田村 市民共同発電所	50,000	
出資金	恵那山おひさま発電所	30,000	
出資金	静岡市民共同発電所	30,000	
差入保証金	湯島ビル 本社事務所保証金	327,678	576,678
固定資産合計			8,835,818
資 産 合 計			22,961,139

科 目		金 額	
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金		7,328,000	7,328,000
未払費用	地域交流会費用	138,975	138,975
前受金	2013度会費	795,000	795,000
仮受金		2,525,559	2,525,559
預り金	給与源泉税	153,215	
	報酬源泉税	9,263	
	住民税	31,900	
	雇用保険料	17,881	
	社会保険料	115,464	
	その他(弁護士顧問料)	60,000	
	売電収入(静岡市民共同)	487,494	
	その他	120,000	995,217
証書預り金(PV-Green)		1,154,500	1,154,500
基金預り金(PV-Green)		2,333,864	2,333,864
流動負債合計			15,271,115
2. 固定負債			
長期借入金			
	(静岡市民共同発電所への出資金)	5,000,000	5,000,000
固定負債合計			5,000,000
負債合計			20,271,115

●4号議案 PV-Net2013年度予算案

収入の部			
基本収入	会費収入	6,600,000	
	寄付金収入	2,000,000	
	基本収入小計	8,600,000	
事業収入	環境省G電力買取事業	2,000,000	
	自治体G事業	3,400,000	確定:委託業務 葛飾(200)大垣(140)
	CO2最小化事業(E基金)	3,500,000	確定:助成
	福島実証モデル事業	8,200,000	確定:助成 (経済産業省)
	市民共同・ファンド事業	7,860,000	確定・予測:自主事業 秋田(50+60)、小諸(30)恵那山、野田村(160+18)、新規サポート3件×150万
	教育事業	1,000,000	予測:職業訓練、育成講座、自然エネ学校
	普及啓発事業	2,500,000	予測:講師、セミナー開催、物品販売
	地域の受託・助成・自主事業	1,500,000	予測:15万×10地域
	その他受託事業	4,000,000	予測:三井物産環境基金、環境省再エネ事業化検討業務
	雑収入	150,000	予測:中古パネル譲渡等
	PV-Green事業収入	600,000	特別会計より
事業収入小計	34,710,000		
収入合計		43,310,000	
支出			
管理費	人件費	2,800,000	
	有償ボランティア費	400,000	
	福利厚生費	600,000	
	会議費	1,200,000	
	旅費交通費	300,000	
	通信費	750,000	
	事務用品等・備品費・修繕費	250,000	
	印刷費	50,000	
	賃借料(リース料)	500,000	
	地代家賃・光熱費・修繕費	1,900,000	
	支払手数料	350,000	
	雑費	300,000	
	租税公課	400,000	都民税+消費税
	地域事務所費	480,000	4ブロック×1万×12ヶ月
	管理費合計	10,280,000	
センター活動費	組織部	1,200,000	
	普及広報部	2,800,000	HP構築費(150)会報3回×(30)等
	相談室	150,000	
	財政部	60,000	
	センター活動費合計	4,210,000	
事業費	環境省G電力買取事業	200,000	
	自治体G事業	2,400,000	支出50万+人件費150+福利厚生30事務費10
	CO2最小化事業(E基金)	1,400,000	有償ボラ90+交通費
	福島実証モデル事業	3,500,000	人件費280+福利厚生20
	市民共同・ファンド事業	1,500,000	有償ボラ100+交通費50
	教育事業	300,000	人件費20+福利厚生10
	普及啓発事業	200,000	
	地域受託・助成・自主事業	1,000,000	
	その他受託事業	2,000,000	人件費160+福利厚生50
事業支出合計	12,500,000		
支出小計		25,000,000	
その他	予備費	3,820,000	
	支出合計	43,310,000	

特別会計:PV-Green事業

P V - G r e e n 事 業	項目	予算額	備考
	I. 収入の部		
	1. 証書収入等	2,600,000	手数料収入
	2. その他収入等	200,000	PV-Green講師料等
	当期収入合計	2,800,000	
	一般会計よりの繰入	0	
	前期繰越収支差額	0	
	収入合計(B)	2,800,000	
	II. 支出の部		
	1. 人件費	2,000,000	
	2. 運営費	50,000	
	3. 販促費	100,000	
	4. その他経費	50,000	
	事業費計	2,200,000	
	III. 法人税等	0	
	IV. 固定資産購入支出	0	
	支出合計(C)	2,200,000	
	一般会計へ繰入	630,000	
	当期収支差額(B)-(C)	600,000	

改訂前	改訂案	変更理由
<p>第1章 総則</p> <p>(事務所) 第2条 本会は、主たる事務所を東京都文京区に置く。 2 本会は、前項のほか、従たる事務所を次の場所に置く。 —(1)—長野県小諸市 —(2)—愛知県名古屋市 —(3)—大阪府大阪市 —(4)—福岡県福岡市</p> <p>第2章 目的及び事業 (役員の種類及び定数) 第12条 本会に、次の役員を置く。 (1) 理事 5人以上20人以内 (2) 監事 1人以上 2 理事のうち、1人を代表理事、複数を副代表理事とする。</p> <p>第5章 総会 (権能) 第21条 総会は、以下の事項について議決する。 (1) 定款の変更 (2) 解散 (3) 合併 (4) 事業計画及び収支予算並びにその変更 (5) 事業報告及び収支決算 (6) 役員の選任又は解任、職務及び報酬 (7) 会費の額 (8) その他本会の運営に関する重要事項</p> <p>(招集) 第23条 総会は、第22条第2項第3号の場合を除き、代表理事が招集する。 2 総会を招集する場合は、日時及び場所並びに会議の目的たる事項及びその内容を示した書面をもって、少なくとも開催日の2週間前までに通知しなければならない。</p> <p>(会議の運営方法) 第24条 総会の議長は、総会に出席した代表理事の中から選出する。</p> <p>(書面表決権等) 第27条 正会員の表決権は、平等なるものとする。 2 やむを得ない事由のため総会に出席で</p>	<p>第1章 総則</p> <p>(事務所) 第2条 本会は、主たる事務所を東京都文京区に置く。</p> <p>第2章 目的及び事業 (役員の種類及び定数) 第12条 本会に、次の役員を置く。 (1) 理事 5人以上20人以内 (2) 監事 1人以上 <u>2 理事のうち、代表理事及び副代表理事を1名以上選定する。</u></p> <p>第5章 総会 (権能) 第21条 総会は、以下の事項について議決する。 (1) 定款の変更 (2) 解散 (3) 合併 (4) <u>事業方針及び収支予算方針</u> (5) 事業報告及び収支決算 (6) 役員の選任又は解任 (7) 会費の額 (8) その他本会の運営に関する重要事項</p> <p>(招集) 第23条 総会は、第22条第2項第3号の場合を除き、代表理事が招集する。 2 総会を招集する場合は、日時及び場所並びに会議の目的たる事項及びその内容を示した書面又は電磁的方法をもって、少なくとも開催日の2週間前までに通知しなければならない。</p> <p>(会議の運営方法) 第24条 総会の議長は、総会に出席した理事の中から選出する。</p> <p>(書面表決権等) 第27条 正会員の表決権は、平等なるものとする。 2 やむを得ない事由のため総会に出席で</p>	<p>事務的、予算的なコストの軽減。</p> <p>今後の会の運営方針に合わせる。</p> <p>会の運営実態に合わせる。</p> <p>今後の会の運営方針に合わせる。より簡易に総会開催（臨時総会含む）が可能となるように。</p> <p>適用者の範囲を広める。</p> <p>会の運営実態に合わせる。</p>

<p>きない正会員は、予め通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。</p> <p>(議事録等の作成保管)</p> <p>第28条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。</p> <p>(1) 日時及び場所</p> <p>(2) 正会員総数及び出席者数(書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を附記すること。)</p> <p>(3) 審議事項</p> <p>(4) 議事の経過の概要及び議決の結果</p> <p>(5) 議事録署名人の選任に関する事項</p> <p>2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">第6章 理事会</p> <p>(議事録等の作成保管)</p> <p>第37条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。</p> <p>(1) 日時及び場所</p> <p>(2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名(書面表決者にあっては、その旨を附記すること。)</p> <p>(3) 審議事項</p> <p>(4) 議事の経過の概要及び議決の結果</p> <p>(5) 議事録署名人の選任に関する事項</p> <p>2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">第9章 資産及び会計</p> <p>(事業計画及び収支予算)</p> <p>第48条 本会の事業計画及びこれに伴う収支予算は、代表理事が作成し、総会の議決を経なければならない。</p> <p>(暫定予算)</p> <p>第49条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、代表理事は理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収入支出をすることができる。</p> <p>2 前項の支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。</p>	<p>きない正会員は、予め通知された事項について書面又は電磁的方法をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。</p> <p>(議事録等の作成保管)</p> <p>第28条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。</p> <p>(1) 日時及び場所</p> <p>(2) 正会員総数及び出席者数(書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を附記すること。)</p> <p>(3) 審議事項</p> <p>(4) 議決の結果</p> <p>(5) 議事録署名人の選任に関する事項</p> <p>2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が押印しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">第6章 理事会</p> <p>(議事録等の作成保管)</p> <p>第37条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。</p> <p>(1) 日時及び場所</p> <p>(2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名(書面表決者にあっては、その旨を附記すること。)</p> <p>(3) 審議事項</p> <p>(4) 議決の結果</p> <p>(5) 議事録署名人の選任に関する事項</p> <p>2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が押印しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">第9章 資産及び会計</p> <p>(事業方針及び収支予算方針)</p> <p>第48条 本会の事業方針及びこれに伴う収支予算方針は、理事会が作成し、総会の議決を経なければならない。</p> <p><u>2 事業計画及び収支予算は前項の方針に基づき理事会が作成する。</u></p> <p>(暫定予算)</p> <p>第49条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算方針が成立しないときは、理事会の議決を経て、予算方針成立の日まで前事業年度の予算方針に準じ収入支出をすることができる。</p> <p>2 前項の支出は、新たに成立した予算方針に基づく予算の収入支出とみなす。</p>	<p>事務量の軽減を目指す。但し総会議事内容の電子記録及び議事メモの作成は実施している。</p> <p>事務量の軽減を目指す。但し、概要を記載した議事録は運用上常に作成している。</p> <p>21条の改定案に合わせる。</p>
---	--	--

<p>(予算の追加及び更正)</p> <p>第51条 予算決議後にやむを得ない事由が生じたときは、総会の議決を経て、予算の追加又は更正をすることができる。</p> <p>(事業報告及び決算)</p> <p>第52条 本会の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録等の決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、代表理事が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。</p>	<p>(予算方針の変更)</p> <p>第51条 予算方針決議後にやむを得ない事由が生じたときは、総会の議決を経て、<u>予算方針を変更</u>することができる。</p> <p><u>2 前項の方針に基づく予算は理事会が作成する。</u></p> <p>(事業報告及び決算)</p> <p>第52条 本会の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録等の決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、<u>理事会</u>が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。</p>	
--	--	--